トヨテツ東北 健康経営宣言

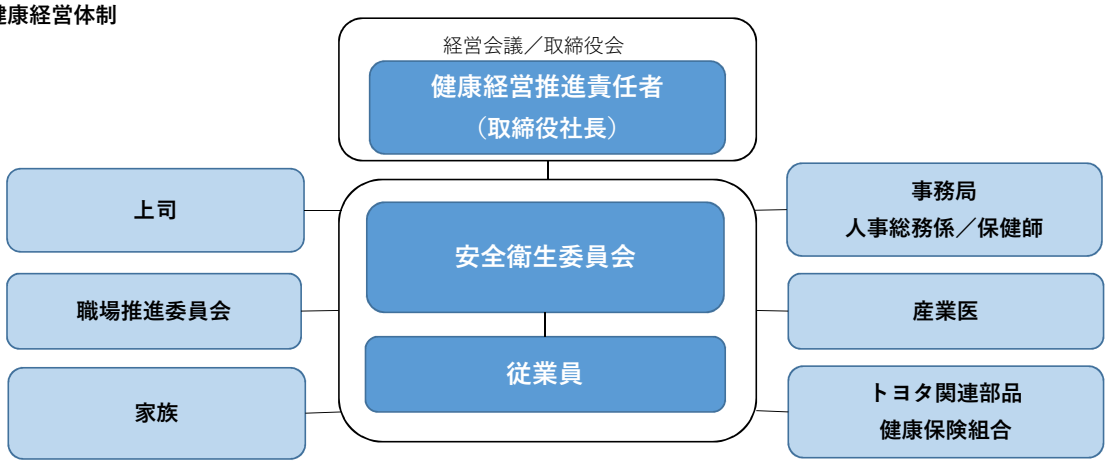
トヨテツ東北は取り巻く様々な環境変化に対応しつつ、ものづくりを通じ調和の取れたより良い社会の発展に貢献していく上で「心身共に健康な人財」が最も重要な経営資源であると考えています。

『一人ひとりが主人公
みんなでつくるトヨテツ東北の安全と健康』

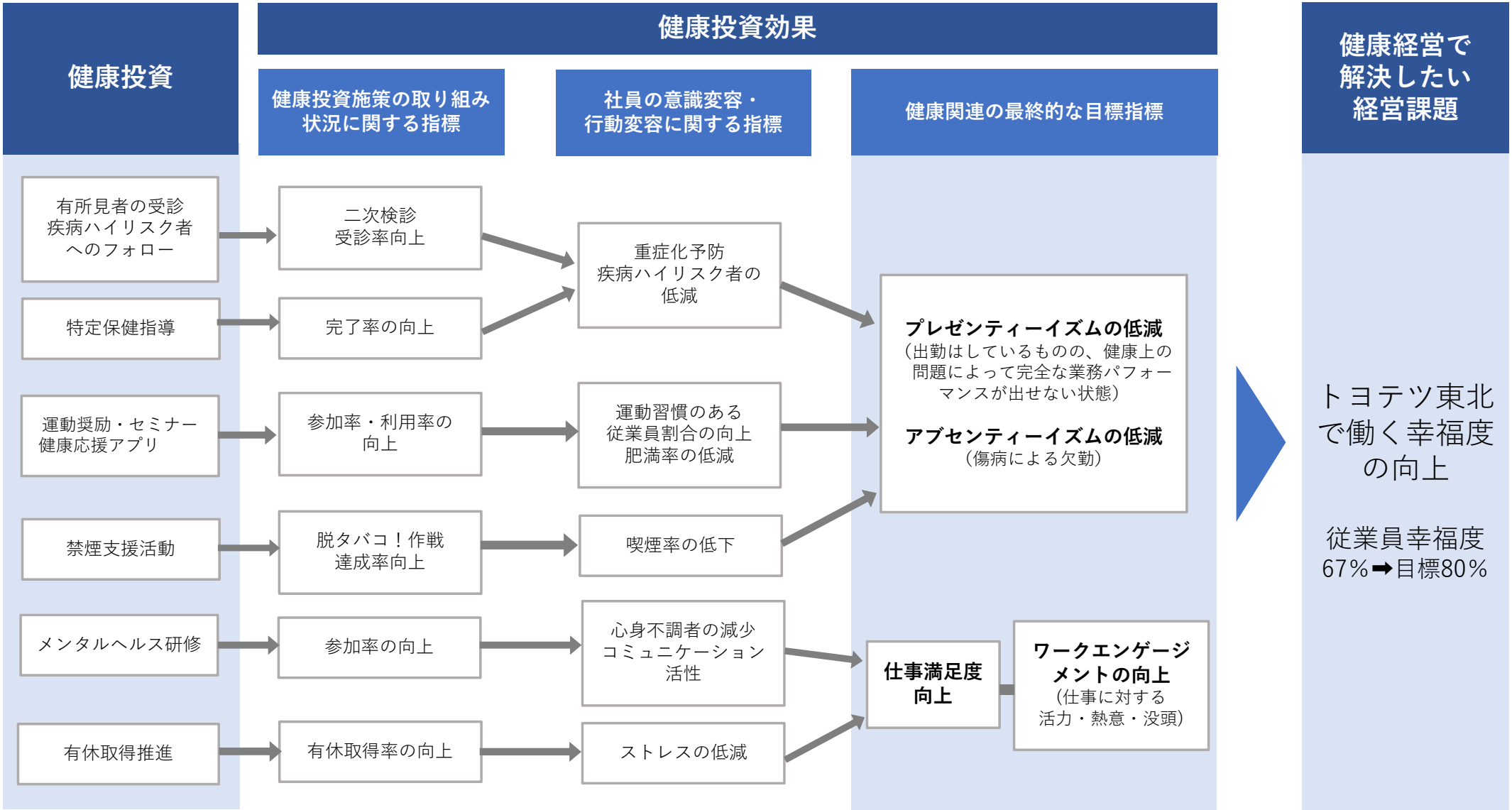
健康経営を推進してまいります。

2023年6月
トヨテツ東北株式会社
取締役社長　松尾　浩久

健康経営体制



相互に連携し、従業員の心身の健康をサポートしています。


健康投資
健康投資効果
健康投資施策の取り組み状況に関する指標
社員の意識変容・行動変容に関する指標
健康関連の最終的な目標指標
健康経営で解決したい経営課題
有所見者の受診 疾病ハイリスク者へのフォロー
特定保健指導
運動奨励・セミナー 健康応援アプリ
禁煙支援活動
メンタルヘルス研修
有休取得推進
二次検診 受診率向上
完了率の向上
参加率・利用率の向上
脱タバコ！作戦 達成率向上
参加率の向上
有休取得率の向上
重症化予防 疾病ハイリスク者の低減
運動習慣のある従業員割合の向上 肥満率の低減
喫煙率の低下
心身不調者の減少 コミュニケーション活性
ストレスの低減
プレゼンティーイズムの低減
（出勤はしているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状態）
アブセンティーイズムの低減
（傷病による欠勤）
仕事満足度向上
ワークエンゲージメントの向上
（仕事に対する活力・熱意・没頭）
トヨテツ東北で働く幸福度の向上
従業員幸福度
67％➡目標80％

当社の労働・従業員パフォーマンス状況

	単位	2022年度
正社員の平均勤続年数	年	7.3
年次有給休暇取得率	%	74.7
年次有給休暇取得平均日数	日	13.9
法定外労働年間延べ発生人数 （月45時間超）	人	181
法定外労働年間延べ発生人数 （月80時間超）	人	0
正社員の年度中離職者数	人	22
社内教育に対する満足度	%	60.8

アブセンティーイズム　※1 （傷病による欠勤）	日	0.9	測定人数 305名
プレゼンティーイズム　※2 （出勤はしているものの、健康上の問題によって 完全な業務パフォーマンスが出せない状況）	点	88.2	測定人数 314名 回答率　99.1%
ワークエンゲイジメント　※3 （仕事に対する活力・熱意・没頭）	点	2.7	測定人数 314名 回答率　100.0%

※1　アブセンティーイズム測定方法

傷病を理由とした欠勤日数の全従業員平均
(傷病を理由とした有給取得日数は未把握の為除く)

※2　プレゼンティーイズム測定方法

職業性ストレス簡易調査票より、疼痛や疲労感などの身体症状に関わる設問で、
「あった」と回答した従業員のうち、「仕事が手につかない」の設問で、「あった」
と回答した従業員の割合より点数化し判定。
回答の対象：「ときどきあった」「しばしばあった」「ほとんどいつもあった」の
３項目。数値が小さいほうが良い状態。

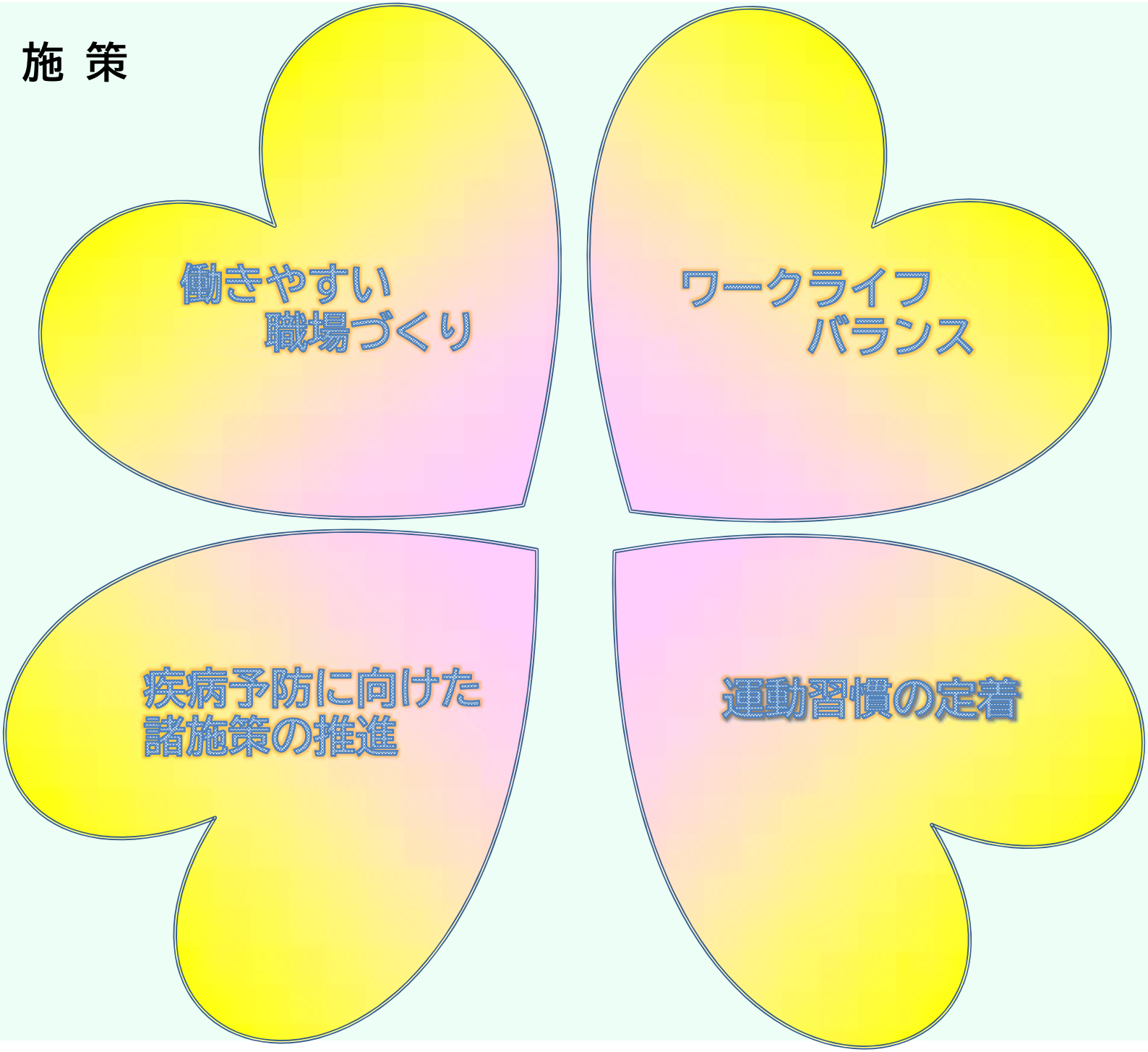
※3　ワークエンゲイジメント測定方法

モラルサーベイ調査の設問で測定。
「仕事に働きがいを感じる」「自分の能力、成果が適切に評価されている」の
設問に対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答した従業員の
割合で判定。数値が高いほど、良い状態である。

当社の健康施策実施状況

	単位	2022年度
定期健康診断受診率 *目標100%	%	100
健康診断後の精密検査受診率 *目標100%	%	85.7
特定保健指導実施率	%	5.6
喫煙率	%	31.3
運動習慣者比率	%	43.8
適正体重維持者率	%	76.3
血圧リスク者率 （収縮期血圧180mmHg以上または 拡張期血圧110mmHg以上の人の割合）	%	0
血糖リスク者率 （空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合）	%	1.8
糖尿病リスク率 （HbA1cが8.0%以上の人の割合）	%	1.3
ストレスチェック受検率 *目標100%	%	99.1
高ストレス者率	%	19.5
女性の健康課題セミナー参加率 （管理職対象　*目標100%）	%	100
ヘルスマ❤チャレンジ参加率 *目標100%	%	食事改善　90.4 運動習慣　80.2 5分間歯磨き　90.0 フロスの使用　52.4
安全度数率	%	14.1

重 点 施 策



1.働きやすい職場づくり

双方向のコミュニケーションにより、風通しの良い働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

モラルサーベイ

従業員の思いや感じていること(幸福感・満足感・問題意識)を定点で集約し、経年変化を視点に分析するもので、従業員100%の回収ができており、従業員幸福度80%以上を目指して環境改善への会社諸施策に活かしています。

労使による協議会

毎月、会社代表と従業員代表による協議会を開催しています。会社側・従業員側双方より、実務目線まで踏み込んだ要望や意見を話し合い、労使が一体となって、従業員が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

空調設備

全社(事務所・工場)に空調設備を整え、暑さ寒さ対策を実施しています。特に暑さに弱い地域柄も考慮し、熱中症対策を強化し、快適な職場環境を目指しています。

会社内禁煙

従業員の健康増進および受動喫煙防止の観点から、会社内全面禁煙を実施しています。

2.ワークライフバランス

労使が一体となり、恒常的な長時間労働の是正、休暇の取得促進で『メリハリ』のある働き方の実現により、心身(心と身体)の健康維持向上に取り組んでいます。

脱 長時間労働

健康で健全に働くことができるよう、長時間労働の時間管理やインターバル制度、定時の日を導入しております。
また、多残業の方に対しては、保健師が面談等を実施し、ケアを充実させています。

年次有給休暇

入社の日から取得できるように、年次有給休暇は入社日に付与しており、年間では12日/1人 以上の取得を奨励しています。

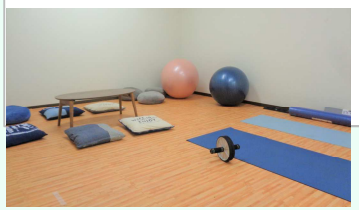
・2021年度 実績 12.3日
・2022年度 実績 13.9日

育児・介護

育児介護休業を取得しやすくし、子育てしながら安心して働ける環境を目指して、子供が小学校3年生までの社員は、時短での勤務が可能です。
フレックスや特別休暇など子育てしやすい環境づくりを進めています。

ほっとスペースの充実

休憩時間を有意義に、仕事の合間にでもリフレッシュしてもらえる様、職場内にリラックススペースを設け、環境整備を進めています。

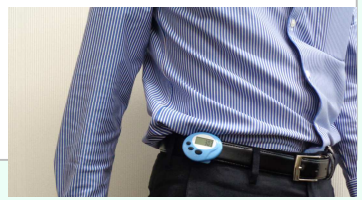


3．運動習慣の定着

社内運動イベントの開催により、従業員の健康の維持・向上を図り、運動習慣の定着に取り組みます。

運動習慣のきっかけづくり

運動習慣の向上のため、歩数計を全従業員に配布し、日常生活においても身体活動を増加できるよう工夫を行っています。



毎朝のラジオ体操

朝にラジオ体操を実践し、体をほぐしてから始業しています。毎日継続することで、運動習慣の定着を図っています。

運動セミナーの開催

長時間のデスクワークや立位での作業が多いことから、肩や腰への負荷が高く、疼痛を訴える従業員が多くなっています。
肩こりや腰痛予防の運動セミナーを開催し、ストレッチや筋トレを実践しました。自宅でもできる運動メニューを学ぶ機会となっています。

健康応援アプリ

身近な健康促進ツールとして健康応援アプリを導入しています。
運動や健康の取り組みに応じてインセンティブの付与が受けられる仕組みになっています。

4．疾病予防に向けた諸施策の推

生活習慣病予防に向け、二次検診のフォローや保健指導の強化に取り組むとともに、
心身の健康維持の支援を行っています。

保健指導の強化

40歳未満の対象者にも指導を実施し、早期に疾病の重症化を予防しています。
2次検診受診率は会社目標を100%としており、受診できるよう各課で業務の調整し、フォローをしています。

健康づくりキャンペーン

毎年秋の３か月間、健保主催のイベント（ヘルスマチャレンジ、脱タバコ！作戦）に取り組んでいます。
「食事」「運動」「歯のケア」の側面から生活習慣の見直しや改善を図っています。
禁煙については、参加者へ定期的にフォローを行い、喫煙率は年々低下傾向にあります。

メンタルヘルス支援

メンタルヘルスの研修や個別面談を通して、メンタル疾病予防や早期発見に取り組んでいます。
保健師、人事、上司、産業医と連携し、心身共に健康に働けるよう、サポート体制を構築しています。

熱中症対策

熱中症対策として、塩飴、経口補水液、保冷剤等を常備し、保冷タオルを従業員に配布しています。
体調不良時にはすぐ休養できる体制を整え、重症化予防を図っています。